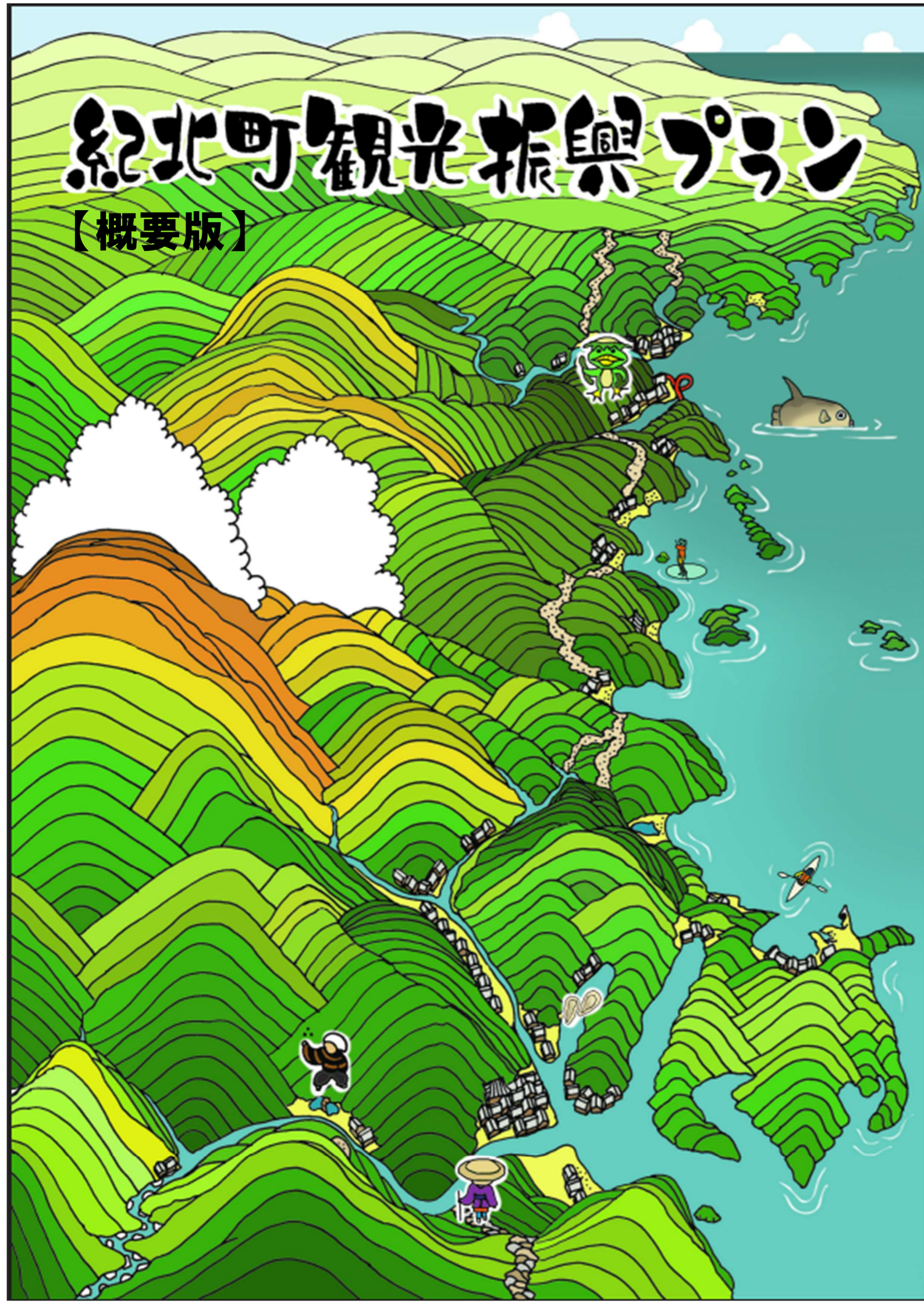


# 紀北町観光振興プラン

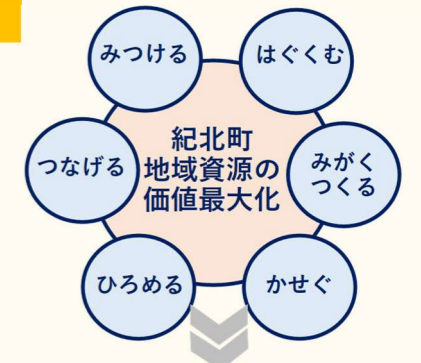
【概要版】



## 1 計画策定の趣旨と観光の定義

地域資源が有する本来の観光価値を最大限に活かす施策を実施することにより、紀北町の有する自然環境保全を含めたオーバーツーリズム対策、エコツーリズムの推進、地域やコンテンツの高付加価値化等を行うことで持続可能かつ『稼げる観光』の実現に向けて交流人口を拡大し、ひいては地域経済の発展に寄与することを目的として観光振興計画を策定します。

本町の観光は、観光の持つ力を使って地域をより魅力的に、そして住んでいる人を元気にすることを目的とします。



交流人口の拡大

地域経済の発展



## 2 計画の推進、進捗管理

基本戦略を実現するために個別施策（必要があれば基本戦略も含む）を定期的に見直すことをあらかじめプロセスに組み込むことで、効果的・効率的な事業展開を図ります。

これにより、観光施策の鮮度・精度を高め、環境の変化に対応した「生きた計画」にするとともに、住民、事業者と行政が官民一体となって観光振興に向き合うことを狙います。



紀北町未来会議（仮称）等の開催により、住民、事業者と行政が官民一体となって観光振興に向き合う機会をつくり、一体となって観光推進・進捗管理を行います。

紀北町未来会議（仮称）とは、本計画の将来像実現のため、基本方針及び基本計画に基づき、アクションを起こしていく推進協議体のことです。行政、観光協会、商工会、観光関係事業者、地域住民など、町内外のすべての紀北町に関わりのある人が、共有・協働する場です。

## 3 観光施策の推進を図る数値目標

【重要目標達成指標】	2025年	2030年
住民の観光に対する満足度	-	※今後設定
観光客の満足度（大変満足と回答した人の割合）	37.5%	42.5%
観光消費単価（宿泊客）	22,645円/人	23,777円/人

## 戦略 1

### 特徴のある地域ブランディングと高付加価値コンテンツの創出

これまでの「点」の観光を脱し、歴史や自然を物語で繋ぐ民間主導の施策へ転換します。世界的に注目されるサステナブルな価値を磨き、本物を求める層を惹きつけることで、地域を潤す「稼ぐ力」とブランドを確立します。

- 1 「世界遺産と清流」を軸としたプレミアム・ストーリーの開発
- 2 紀北版ガストロノミー・ツーリズムの推進
- 3 滞在時間を延ばすコンテンツの創出
- 4 サステナブルなコンテンツの創出・サステナブル・サイクルの実現

## 戦略 2

### 滞在型観光を支える受入環境の整備と利便性向上

観光客の滞在時間を延ばし、地域全体へ回遊させるためには、宿泊施設の魅力向上と移動のストレスを軽減する二次交通の整備が不可欠です。誰もが快適に町内を巡り、長く留まれる環境を構築します。

- 1 多様な宿泊スタイルの提案と質的向上支援
- 2 観光拠点の「ハブ(拠点)機能」の高度化
- 3 デジタルと連携したシームレスな二次交通網の構築

## 戦略 3

### データ駆動型マーケティングの推進 (観光 DX)

デジタル技術を駆使し、「誰が、どこから来て、何を求め、いくら使ったのか」を精緻に分析することで、限られた予算と人員を最も効果的なターゲットへ投入する戦略的なマーケティングを実践していきます。

- 1 観光データプラットフォームの構築と活用
- 2 ターゲット別プロモーションの最適化
- 3 観光予約・案内プロセスのフルデジタル化

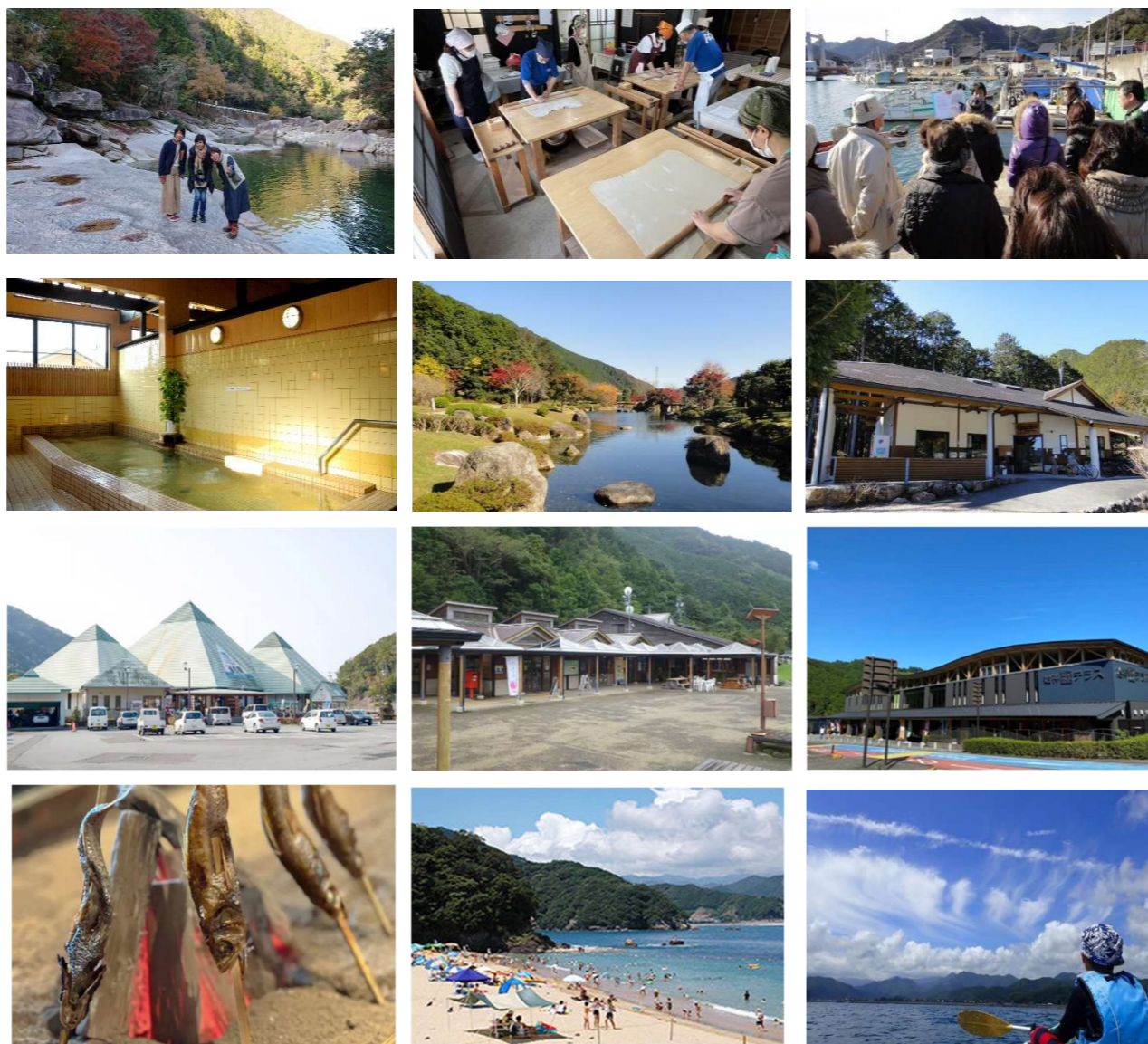
## 2030年の将来像

# 世界を惹きつける“奇跡の自然”と “祈りの道”が地域の豊かさを創り出すまち

～持続可能な観光マネジメントによる「稼ぐ」地域経済の確立～

## 基本方針

「量」から「質」への転換を掲げ、滞在の深まりと消費の向上により地域が真に潤う「稼ぐ観光」を目指します。世界遺産や清流を次世代へ繋ぐべく、資源の保護と利活用が循環する持続可能な形を追求。行政と住民、事業者が一体となり、民間の情熱を原動力に据えたまちづくりを推進します。多様な主体が主役となり、この町ならではの魅力を磨き上げることで、訪れる人も住む人も誇りを感じられる、心豊かな観光地を築いていきます。



## 戦略 4

### サステナブルな観光経営 (守りと共生)

観光収益を資源保全に還元する仕組みをつくり、住民が自主的・主体的に活動に参加する機会を提供するとともに、観光のメリットを直接享受できる体制を整えることで、町独自のサステナブル・サイクルを構築し、100年先も愛される持続可能な観光地を目指していきます。

- 1 環境保全と経済性の両立を図るルールづくり
- 2 シビックプライドの醸成と地域参画の促進

## 戦略 5

### 自律的な推進体制の構築 (ガバナンス)

これまでの施策は行政主導の側面が強く、民間事業者の主体性やスピード感を引き出しきれませんでした。本計画では、官民が対等なパートナーとして役割を分担し、継続的に改善 (PDCA) を回し続けられる強固な組織体制を構築していく必要があります。

- 1 「稼ぐ組織」への観光協会の機能強化
- 2 ステークホルダー間の連携強化と合意形成
- 3 広域連携の深化による「広域周遊ルート」の確立
- 4 民間主導の稼ぐ仕組みづくり

## 戦略 6

### 観光まちづくりをけん引する人材の育成と確保

経営的視点を持つリーダー層の育成、現場のサービス向上を担う専門人材の確保、そして地域への愛着を持つ次世代の育成を三位一体で推進し、観光を「稼げる産業」へと成長させる基盤を作ります。

- 1 経営的視点を持つ「観光マネジメントリーダー」の育成
- 2 紀北の魅力を伝える「プロフェッショナル・ガイド」の高度化
- 3 持続可能な活動を支える「コミュニティ・ガバナンス」の強化



## 紀北町観光振興プラン（令和8年-令和12年）概要版

---

発行：紀北町 商工観光課  
〒519-3292

三重県北牟婁郡紀北町東長島 769 番地 1

電話：0597 (46) 3115

問合せ：<https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/contact/>

発行日：令和8年3月

---